

通算山行NO	NO・88S	報告者	大根田元男	
年月日	'96年11月 1日(金曜日)～ 年11月 3日(日曜日)			
山行名	冬山偵察			
山名	地藏尾根～仙丈岳(3,033m)～北沢峠			
コースタイム 及 タイム	11/1 (晴)	下土狩IC13:30 ⇒富士IC 14:52⇒西富士道路⇒甲府南IC 16:05⇒伊那IC 17:30 ⇒高遠町⇒市野瀬⇒塩平⇒麦沢方向の路上(標高1,200 m) 20:00 (車中泊)		
標高差	△S	～T	≠ m	体力度
	▼T	～G	≠ m	危険度
走行距離	下土狩～田城原		≠ 250 Km	自然度
参役加 者割	CL・後藤隆徳(49)・SL大根田元男(60) 高岡八千代(59)・加藤秀子(47) (会員 4名)			
第1 日 目	<p>伊那IC辺りから暗くなり目的地に向かう加藤運転の車が市野瀬を通過して、栗沢部落まで来て初めて行き過ぎに気づく。ここから運転をCLに交替し市野瀬を戻り、土地の人に登山道を教えてもらい、CLの地図を頼りに孝行猿の道を進む。山道を横断した低電線(動物侵入防止?)が張ってあり取り外して進む。是ほどひどい山道は初めて。道の両側が草と小枝に阻まれ市野瀬に引き返す。今度は長野県の道路地図とアルペンガイドブックを見ながら、塩平から田城高原を目指す。ライトに照らし出された前方には風に吹かれて落下する唐松の紅葉が大変綺麗であった。</p> <p>夜の為、地形が分からず新しい林道に入ったらしい。行く手に崖崩れ場に突き当たり又も引き返す。翌朝、明るくなってから道を探す事にし路上車中泊に決定。夕食は各自持参したものであるが、刺身(鯛・ぶり・イカ)が出てびっくり!これでアルコールの量も増し、話しも弾むも22:00 就寝。</p>			
備考	<p>夜間、山地では地形が分からず、又地図と違う点線のような道が良い道であったりで間違しやすい。現地には明るいうちに到着したい。</p>			
<p>CLのコメント: 1. 地藏尾根は79年冬以来から林道が分からなかった。最も今回はあくまで「偵察」なのでそれはそれで良い。2. それにしても標高1200m近くの「山奥」に人向って17:30暮しているもの。おどろきました。</p>				

ほとんどのPは柏木かぶかぶ